

Internet Assistant for Microsoft **PowerPoint**[®] 日本語版 for Windows 95

はじめに

Microsoft® PowerPoint® for Windows® 95 (以下、PowerPoint)は、強力な機能を持つプレゼンテーションソフトウェアです。PowerPoint に付属している美しいデザインのテンプレート、クリップアート、配色、アウトライン機能などを使って、洗練されたスタイルで情報を伝えるプレゼンテーションをすばやくまとめ上げることができます。それに加えて今回 Microsoft では、新しいアドインプログラム Internet Assistant for PowerPoint を無償配布することになりました。このアドインを使用すると、作成したプレゼンテーションを簡単なマウス操作だけで Web ページの形式に変換することができます。

Web ページとは、Web ブラウザでテキストやグラフィックスを表示するためのコマンドで構成されたテキスト ファイルです。Web ページの大きな利点は、そのコンテンツをハイパーリンクと呼ばれるものによって、ほかのページにリンクできることです。Web ブラウザでハイパーリンクをクリックすると、リンク先のページに自動的にジャンプすることができます。

これは、PowerPoint のプレゼンテーションの特長でもあります。このため、PowerPoint で作成したプレゼンテーションを Web ページに変換しても、スライドショーを行う場合と同じように内容を伝えることができます。Internet Assistant for PowerPoint はそのためのお手伝いをします。

Internet Assistant for PowerPoint をセットアップすると、PowerPoint の [ファイル]メニューに [HTML エクスポート] というコマンドが追加されます。HTML (HyperText Markup Language) は WWW で使用するハイパーテキスト言語ですが、この新しいコマンドをクリックしてフォルダ名を入力し、[OK] をクリックするだけで、HTML 形式のプレゼンテーションを作成することができます。HTML のコードは Internet Assistant で自動的に記述されるので、自分で HTML を作成する必要はありません。

Internet Assistant の [HTML エクスポート] コマンドを実行すると、指定したプレゼンテーションから、互いにリンクされた 1 組みの HTML 文書が作成されます。プレゼンテーション内の各スライドは、それぞれグラフィック形式とテキスト形式の HTML ファイルに変換されます。テキスト形式の HTML ファイルは、グラフィックスを表示できない Web ブラウザを使用する場合に役立ちます。また、グラフィックスを表示できるブラウザでも、テキストだけを次々に見たいときなどに便利です。グラフィック形式の HTML 文書では、元のプレゼンテーションのイメージがそのまま再現できます。Internet Assistant では、元のスライドの“クライアント側のイメージマップ”が自動的に作成されるので、いずれの形式でも、PowerPoint でほかのスライドや文書へジャンプするためのオブジェクトの動作設定が維持されます。たとえば、元のプレゼンテーションのスライド 1 で楕円をクリックするとスライド 5 にジャンプできるように設定されている場合、変換後の HTML 文書でも同じようにジャンプできます。

このように、Web 用のプレゼンテーションの作成はとても簡単です。この文書を読んで、早速チャレンジしてください。HTML についてある程度理解できたら、文書の後半にある「Web 用の PowerPoint プレゼンテーションを作成するためのヒント」や「Internet Assistant for PowerPoint を活用する」もぜひお読みください。

目次

Internet Assistant for PowerPoint のセットアップ

Internet Assistant for PowerPoint の使い方

新しい Web ページを参照する

発表者のノート

非表示スライド

グループ化されたオブジェクトとテキスト

イメージの大きさを変更する

プレゼンテーションを Web に移動する

Web 用の PowerPoint プレゼンテーションを作成するためのヒント

Internet Assistant for PowerPoint を活用する

トラブルシューティング

Internet Assistant for PowerPoint の削除

Internet Assistant for PowerPoint のセットアップ

操作を始める前に、PowerPoint for Windows 95 がセットアップされていることを確認してください。Internet Assistant は、PowerPoint 4.0 以下のバージョンでは動作しません。1 台のコンピュータを複数のユーザーで共有している場合は、それぞれのユーザーご、, Internet Assistant

,fffff,,—,,,,,□,,□PowerPoint ffffff,,□,□,%”,,,,,’,,,,,,□□,込みが許可されていないネットワークへのセットアップでは、Internet Assistant を使用することができません。

PowerPoint を実行している場合は終了します。

ia4ppt95.exe をダブルクリックします。

画面の指示に従って操作します。

セットアップが完了したら、PowerPoint を起動して、[ファイル]メニューに [HTML エクスポート] コマンドが追加されていることを確認してください。

Internet Assistant for PowerPoint ,Ž•

,,,,□ PowerPoint fffff□fff, HTML •□,•Š,,•-,□-,,,□Internet Assistant f PowerPoint が既にセットアップ済みであり、PowerPoint の [ファイル]メニューに [HTML エクスポート] コマンドが表示されていることを前提とします。このコマンドが [ファイル]メニューにない場合は、メニューにない場合は、PowerPoint を終了し、前の「werPoint のセットアップ」の手順をもう一度確認してください。

操作を始める前に、画面の左上 4 分の 1 の領域に [常に手前に表示] オプションを設定したツールバーやダイアログ ボックスがされていないことを確認してください。たとえば Microsoft Office ショートカット バーや Windows のタスクバーでは、このオプションが設定されている場合があります。このようなツールバーやダイアログ ボックスが表示さダイアログ ボックスが表示されているときは、画面の下側または右側に移動してください。れているときは、画面の下側または右側に移動してください。

変換する PowerPoint プレゼンテーションを開きます。

[ファイル]メニューの [HTML としてエクスポート] をクリックします。

[HTML エクスポート オプション] ダイアログ ボックスのオプションを次のように設定します。

[出力スタイル]

[グレースケール] または [カラー] をクリックして、スライドを白黒表示するかカラー表示するかを指定します。複数の色を使用したスライドでは、カラー表示を選択してください。

1. [出力形式]

[JPEG] または [GIF] をクリックして、スライドで使用するビットマップリ小さくなりますが、元のイメージイメージを忠実に再現することが難しくなります。次のを忠実に再現することが難しくなります。次のオプションを参照してください。

2. オプションを参照してください。

3. [JPEG イメージイメージの品質とファイル サイズ]

目盛を調整して、JPEG 形式の品質を設定します。レベルを低く設定するとファイルは小さくなりますが、テキストや線がかすれてしまうことがあります。スライド中に写真を多く使用している場合は、JPEG ファイルにすることで容量を小さくし、Web ページをダウンロードするときの速度を向上させることができます。

• [HTML エクスポートに使うフォルダ]

Web ページ用に作成したファイルを保存するドライブ名とフォルダ名を入力します。

保存先を変更するには、新しいパスを入力するか、または [参照] をクリックして保存先を選択します。

- [OK] をクリックします。
-
- 注意: プレゼンテーションの変換中は、スライド ショー内にマウス ポインタを移動しないようにしてください。エクスポートしたスライドに、スライド ショーの [ショートカット メニュー] ボタンが表示される場合があります。この現象を防ぐには、[ツール] メニューの [オプション] をクリックし、[表示] タブの [[ショートカット メニュー] ボタンを表示] ボタンを表示する] チェック ボックスをオフにしておきます。
-
- しばらくすると、ウィンドウ内にスライド ショーが表示されます。Internet Assistant では、このウィンドウを使用して、スライドのイメージイメージが変換されます。プレゼンテーションに含まれるスライドの数やオブジェクトの動作設定が多いほど、この処理にかかる時間は長くなります。
-
- 変換したファイルの保存先。プレゼンテーションに含まれるスライドの数を減らした場合、以前の文書のいくつかは上書きされないため、目的の Web サイトへフォルダを移動する前に、**不要なファイルを削除してください。この手間を省くには、最初から*プロジェクトを新しく作成するか、以前の*プロジェクトを削除してから、変更したプレゼンテーションを変換するようにしてください。**
- 新しい Web ページを参照する 省くには、最初からフォルダを新しく作成するか、以前のフォルダを削除してから、変更したプレゼンテーションを変換するようにしてください。
- 新しい WWW ページを参照する
- 新しい WebWW ページは、実際には [HTML エクスポート オプション] ダイアログ ボックスで指定したフォルダに保存されたファイルを集めたものになりまえば、3枚のスライドが含まれるプレゼンテーションを、Windows デスクトップ上の [Sales Presentation] というフォルダに保存したとします。そのフォルダには、次のようなファイルが含まれ次のようなファイルが含まれます。ることになります。
-
- Index.htm
- Sld001.htm
- Sld002.htm
- Sld003.htm
- Tsl001.htm
- Tsl002.htm
- Tsl003.htm
- Sld001.gif
- Sld002.gif
- Sld003.gif
-

4. Index.htm は、プレゼンテーションのホーム ページです。ブラウザで見ると、プレゼンテーションの名前と、氏名および会社名が表示されます。このホ ページには、プレゼンテーションに含まれるスライドのタイトル一覧がハイパーリンクの形式で表示されるので、一覧の項目をクリックするだけで目的のスライドに移動することができ、目的のスライドに移動することができます。Microsoft インターネット エクスプローラ。Internet エクスプローラなどの Web ブラウザなどの Web ブラウザがコンピュータにセットアップされている場合は、.htm 形式のファイルを開くことができます。

Sldxxx.htm ファイルは、各スライドを **Web 形式** で表したものです。このファイルを使って、**Sldxxx.gif** (または Sldxxx.jpeg) ファイルがブラウザに読み込まれます。

Tslxxx.htm ファイルは、スライドのテキスト部分だけを抽出したもので、スプレッドシート、および図形が表示されます。PowerPoint ではグラフィックスを利用してデータを表現することが多いので、テキストのみのスライドではプレゼンテーションの内容を明確に伝えられない場合があります。Web ページがあります。Web ページに変換する予定のプレゼンテーションを作成する

ときは、この点を考慮してください。ージに変換する予定のプレゼンテーションを作成するときは、この点を考慮してください。るその他の .gif ファイルは、Webeb ページの次ページ、前ページ、先頭ページ、およびテキストを表示するためのボタンに対応しています。これらのボタンはすべてのページで流用されるので、フォルダに 1 組みあれば十分です。テキストのみのファイルでは、これらのボタ f,fff□fff,□',,,,ffff,*,,,,□

•,,,,□

”•Ž,ff ”•Ž,f□f

f レゼンテーションに追加した発表者のノートは、Sldxxx.htm と Tslldxxx.htm の両方に表示されます。発表者のノートが Webe ジに表示されないようにするには、この文書の後半にある

「Internet Assistant for PowerPoint を活用する」を参照してください。

非表示スライド

PowerPoint for Windows 95 では、特定のスライドを非表示に設定することができます。非表示にしたスライドは、[オブジェクトの動作設定]ダ ffff ffff,Ž',,,,はショートカットメニューの [ジャンプ]-[非表示スライド]をクリックしたときにのみプレゼンテーションに表示されます。一方、HTML 形式のプレゼンテーションを作成すレゼンテーションを作成すると、すべてのスライドに対して 1 つずつ HTML ファイルが作成されます。非表示スライドを HTML 形式のプレゼンテーションに表示されないようにするには、変換するプレゼンテーションのコピーを作成し、そこから非表示スライドを削除してから HTML ファイルに変換します。または、すべての非表示スライドをプレゼンテーションの最後に移動してから、非表示スライドの直前に新しいスライドを挿入し、以降のスライドが参照用またはバックアップ資料であることを明記します。

グループ化されたオブジェクトとテキストると、すべてのスライドに対して 1 つずつ定したディスプレイで作成されるものより小さくなります。イメージイメージの大きさを調整するには、の大きさを調整するには、プレゼンプレゼンテーションを変換する前に、次のようにしてディスプレイの解像度を変更しておきます。ーションを変換する前に、次のようにしてディスプレイの解像度を変更しておきます。

[スタート]メニューの [設定] をポイントし、[コントロール パネル] をクリックします。

[画面] をダブルクリックし、[ディスプレイの詳細] タブをクリックします。

[デスクトップ領域] で解像度を設定し、[OK] をクリックします。

プレゼンテーションを Web に移動する WW に移動する

新しいプレゼンテーションのページを作成したら、次は Webeb に移動して、ほかの人たちが参照できるようにします。ただし、Web にはアクセスの制限がないので、一般に公開したくないデータがプレゼンテーションに含まれている場合は、社内の Web サーバーなどを使用します。サーバーなどを使用します。

プロバイダ,,,Ž•, Web“,Ž•, Web fff,Ž',,,,□□,□ffff,Ž•のファイル スペースに送信しない限り、ほかの人には見ることができません。Internet Assistant では、プレゼンテーション単位でフォルダを作成し、それぞれのフォルダ名に対してハイパーリンクを設定しなければなりません。作成したプレゼンテーションのファイルはすべてこののファイルはすべてこのフォルダにコピーしておきます。必要に応じて、新しく作成したフォルダやその中のファイルに対するアクセス許可を設定してください。お使いの Web サイト環境についての詳細は、各プロバイダなどにお問い合わせください。

Web 用の PowerPoint プレゼン,,,Ž•-,%,,ŽŽ,,ŽŽ,, ffff,,,? ,f ファイルに対するアクセス許可を設定してください。お使いの Web サイト環境についての詳細は、各プロバイダなどにお問い合わせください。

WWW 用の PowerPoint プレゼンテーションを作成するための istant for PowerPoint は、プレゼンテーションを Webeb 上で使用できるようにするためのプログラムです。この機能を最大限に活用するには、元となるプレゼンテーション自体がわかりやすいものでなければなりません。また、それを HTML 形式に変換した結果にも気を配る必要があります。ここでは、Web 用の Webeb 用のプレゼンテーションを作成するプレゼンテーションを作成するときに気を付けたいことをてみました。

1. オブジェクトの動作設定を使用する。
PowerPして、ほかのスライド、ドキュメント、または HTTP アドレスに移動することができます。変換後のプレゼンテーションでは、オブジェクトの動作設定は、スライドやほかの文書のスライドやほかの文書の間に設定されたリンクを保つ "★クライアント側の画像マップ"間に設定されたリンクを保つ "クリックابل マップ"になります。
2. [オブジェクトの動作設定] で URL を指定する場合は [プログラムの実行] に入力してください。

1. 一般的な Webeb プロトコルを使用する。

Internet Assistant for PowerPoint では、HTTP、FTP プロトコルに対応しています。たとえば、[オブジェクトの動作設定] ダイアログ ボックスにある [アラム,Ž□]

fffff,Ž□□,,□http://,,□,,ffff,*,□ff ゼンテーションを HTML 文書に変換したときに正しく再書に変換したときに正しく再現されます。

プレゼンテーションのイントはテキストでも示す。

スライドにグラフや組織図しか含まれていない場合、テキストのみの形式の HTML 文書には情報がほとんどエクスポートされません。テキストのみの形式を考慮してスライドを作成してください。

スライドに雑多な情報を盛り込まない。

わかりやすいプレゼンテーションは、Webeb ページとしても読みやすいものです。プレゼンテーションが論理的で簡潔な。

大きなフォント サイズを使用する。

小さなテキストは概してプレゼンテーションマップとして保存すると、さらに読みにくくなります。

プレゼンテーションの作成については、PowerPoint のマニュアルやオンライン ヘルプを参照してください。ヘルプ等を参照してください。

Internet Assistant for PowerPoint の活用

ここでは、HTML について多少の知識を持っている方を対象に、エクスポートするプレゼンテーションの設定 (効果や出力形式など) を任意に変更する方法を説明します。

Internet Assistant for PowerPoint をセットアップすると、PowerPoint フォルダに .tpl の拡張子を持つファイルが 2 つ追加されます。これらは HTML 形式のスライドを作成するときに TITLE タグ、BODY タグ、および文書の END タグも含まれています。これらのタグの間には、スライド イメージのプレースホルダ、コントロール ボタン、およびプレゼンテーションにメモを挿入も含まれています。これらのタグの間には、スライド イメージのプレースホルダ、コントロール ボタン、およびプレゼンテーションにメモを挿入するためのプレースホルダするためのプレースホルダが用意されています。が用意されています。

ffff,ff,□,,fffff□fff,ffff□f,,□□,□.tpl ffff,Ž,□□□,,,,,□

Notes:

<HR

%s </P> **NOTES**>

<**TEXT**> **TEXT**>

<***NOTES**

<HR SIZE=3>

<P> %s </P> を次のように変更します。

- Notes prepared for the presentation:

-
- Internet Assistant for PowerPoint を利用して HTML に変換する時には、次の点にご注意ください。
-
- プレゼンテーションの画面切り替えのタイミングは HTML には反映されません。 Web ページ上での画面切り替えを設定する場合は Client Pull をご利用ください。
- Web サイトにファイルを移動する時には、ナビゲーションボタン(スライドの図の下に表示されているボタン)のパスを変更しなければいけない場合があります。
- 使用するブラウザによっては、中央揃えが左揃えで表示される場合があります。
- 必要に応じて、ナビゲーション ボタンボタン コントロールを囲む表の構造を変更または削除します。
- 上記で表の構造を変更した場合には、ナビゲーション ボタンボタン コントローラーできません”“エラー：ファイルをコピーできません” というメッセージが表示された場合は、次のような原因が考えられます。
- PowerPoint が実行されています。PowerPoint を終了してから、セットアップをもう一度実行してください。
- PowerPoint のディレクトリ (\PowerPnt) ★IA にあるファイル (Image.tpl、Pptl.dll、Ppt2html.dll、Ppt2html.ppa、Setup.exe、Slidedmp.exe、Suintl.dll、Text.tpl) に、読み取り専用の属性が設定されています。読み取り専用の設定を解除してから、セットアップをもう一度実行してください。
- 実行してください。
- MS-DOS プロンプトを使用して、別のディレクトリからセットアップを実行しようとした。
- 書き込みが許可されていないディレクトリに対してネットワーク セットアップを行おうとしました。これらはサポートされません。
- システム レジストリに登録されている PowerPoint の情報が壊れている可能性があります。PowerPoint 本体を再セットアップしてから、もう一度 Internet Assistant for PowerPoint のセットアップを実行してください。レジストリに登録されている PowerPoint 本体を再セットアップしてから再度、Internet for PowerPoint のセットアップを実行してください。
-
- エクスポート中に "ディレクトリを作成できません" "ディレクトリを作成できません" というメッセージが表示された場合は、次のような原因が考えられます。
- 複数のディレクトリを新規作成しようとした。1つのエクスポートプロジェクトに対して新規作成できるディレクトリは 1つだけです。特定のパスを検索するには、[参照] ボタンを使用します。
- 指定したディレクトリまたはサーバへの書き込みが許可されていません。システム管理者に確認してください。
- 入力したドライブ名が正しくありません。
-
- エクスポート中に "正しく保存されたファイルがあります。既存のファイルを削除しますか?" "正しく保存されていないファイルがあります。既存のファイルを削除しますか?" というメッセージが表示された場合は、次のような原因が考えられます。

- 保存先のコンピュータの空き領域が足りません。変換後のスライドには、1枚につき 20K～30K のスペースが必要となります。コンピュータの空き領域を確保してから、もう一度やり直してください。
- "エクスポートしたスライドに、ほかのダイアログ ボックスの画像が表示されている場合"は、次のような原因が考えられます。
- 画面の左上 4分の1の領域に [常に手前に表示] オプションを設定したツールバーやダイアログ ボックスが表示されていないことを確認してください。たとえば Microsoft Office ショートカット バーや Windows のタスクバーでは、このオブジェクトボックスが表示されているときは、スが表示されているときは、画面の下側または右側に移動してください。画面の下側または右側に移動してください。

"エクスポートしたスライドの左下部分に、小さな四角形のゴミが表示されている場合は、次のような原因が考えられます。

スライド ショーの [ショートカット メニュー] ボタンを表示した状態で、スライドをエクスポートしました。この四角形のゴミが表示されないようにするには、[ツール] メニューの [オプション] をクリックし、[表示] タブの [[ショートカット メニュー] ボタンを表示する] チェック ボックスをオフにしてから、スライドをもう一度エクスポートして、もう一度エクスポートしてください。 ださい。

- "エクスポートしたスライドのタイトルに半角カタカナ文字が使用されており、文字が正しく表示されない場合は、次のような原因が考えられます。
- Microsoft インターネット エクスプローラで、[日本語処理方法] が [自動判別] に設定されています。文字を正しく表示させるには、インターネット エクスプローラの [表示] メニューの [オプション] コマンドをクリックし、[フォント] タブの [日本語処理方法] を [シフト JIS] に設定してください。

1. Internet Assistant for PowerPoint ,□□

Internet Assistant for PowerPoint ,□,□合は、次の操作を行います。

PowerPoint を実行している場合は終了します。

PowerPoint をセットアップしたフォルダから、以下のファイルを削除します。

Ppt2html.ppa

1. Ppt2html.dll
2. Slidedmp.exe
3. Pp2hintl.dll
4. Image.tpl
5. Text.tpl

6.

7. 追記

8. Internet Assistant for PowerPoint は Independent JPEG Group の協力を得て作成されました。

9.

10.

11. 2/2/96 2/17/23